

# 青野沢川河川災害復旧工事（その1）

## 2018年5月 工事日より

工期：2014年12月17日 ~  
2018年 10月31日

### 工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	94.2 %	掘削、盛土
護岸工	81.2 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、樹他
付属構造物工	60.0 %	階段他
構造物撤去工	100.0 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	100.0 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	100.0 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	96.4 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	100.0 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	100.0 %	旧橋撤去
仮設工	88.1 %	工事用道路、水替え他

### トピックス

本工事の工期が決まりました。ただし、『国道45号線周り』は国道工事が大幅に遅れているため、**本工事では完成できません。**。全て完成するまでもう少し時間がかかります。。。

#### 選奨土木遺産とは（その1）

土木学会は、失われるおそれのある貴重な土木構造物を「選奨土木遺産」として保存することにより、

- 1.社会へのアピール**  
土木遺産の文化的価値の評価、社会への理解等
- 2.土木技術者へのアピール**  
先輩技術者の仕事への敬意、将来の文化財創出への認識と責任の自覚等の喚起
- 3.まちづくりへの活用**  
土木遺産は、地域の自然や歴史・文化を中心とした地域資産の核となるものであるとの認識の喚起

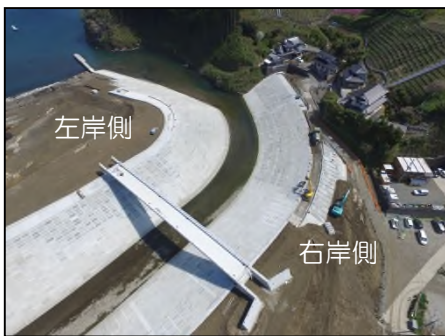
を期待しています。みなさんも近場に土木遺産がある場合は、少し気にかけてみて下さい。



**轡波洗堰 ときなみあらいぜき（登米市）**  
戦前の大規模分水事業、北上川第一期改修工事にて建設された施設。我が国の分水堰技術の中でも希少なゲート形式群になります。  
なお、「堰」とは、流れを制御するために河川、水路などを横断してつくられる構造物です。

参照：土木学会 土木学会選奨土木遺産

### 施工状況



全景写真

右左岸ともに堤防天端工も順調に進み、コンクリート部分が増えてきました。今後、右岸側では港橋へのすり付け道路を築造するため、腹付け盛土やガードレール基礎工事を進めていきます。左岸側では、市の防冲堤工事と調整しながら工事を進めていきます。

#### 排水工（右岸No.10）



掘削・床付け状況



堤脚水路据付



勾配コンクリート打設



型枠組立



コンクリート打設



完成

#### 港橋重力式擁壁工（右岸No.4）

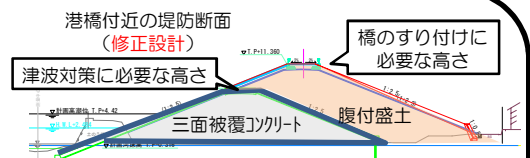
### 工事担当者から一言



工事担当 西村 直人

三面被覆コンクリートの堤防（国道45号線周囲を除く）は、完成に近づいています。これからは、三面被覆コンクリートの上に盛土を行い、港橋の高さにすり付けてきます。

右岸最下流部では、本体堤防との取り合い部の整備も進めます。工事エリアと生活道路が近接した中での作業となります。住民の皆様には、今まで以上にご迷惑をおかけすることが多くなるかもしれませんが、ご理解とご協力、宜しくお願い致します。



堤防との間にできてしまった窪地を平らになるように整備していきます。

#### 連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5

電話：0226-31-3201

FAX：0226-31-3510

ホームページ

： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

現場見学会を随時行っています。ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。



人と地球の架け橋に

**竹中土木**